

## 目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

# SEA IWAKI

いわき経済同友会

3月号／2009年3月1日発行

## 3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

## 2月新春特別例会・公開講演会

●日時● 2月12日(金) P.M.6:00～

●場所● 報徳苑

□講演会テーマ「これからのいわき」 櫛田一男いわき市長



2月12日(木)午後6時より、2月新春特別例会が開催されました。三室例会委員長の司会のもと、松尾幸治さんの3つの目的唱和の後、里見代表幹事の挨拶、各連絡報告事項と進められました。

里見代表幹事からは、「今回の不況でこれほど急激に実経済が打撃を受けるとは想定外。金融業、輸出関連業において痛手が及ぶことはある程度想定していたが、全ての産業がこれほど短期間のうちに落ち込んでいくことはかつて経験したことがない。しかも、いつまで我慢すればいいのかすら見えて来ない厳しい現状。そういう状況を踏まえ、我々地域の経済は自分たちで廻す仕組みを作っていく必要がある。仕事が発生したら会員企業に声掛けするなどして、いわき経済同友会から不幸な企業が出ないよう凌いでいきたいのでご協力お願いしたい」との挨拶がありました。

2月の誕生月花プレゼントは、山口副代表幹事、見

上寛幸さん、久野貞明さん（代理小林茂幸さん）に「マーガレット」がプレゼントされました。

例会終了後、いわき市長櫛田一男氏より「これからのいわき」について講演を頂きました。

**2月誕生月プレゼント マーガレットが贈られました。**



左から久野貞明さん(2/8生)、里見代表幹事、山口弘之さん(2/26生)、  
（小林氏代理出席） 見上寛幸さん(2/17生)

## 要旨

# テーマ「これからのかいわき」 柳田一男 いわき市長



柳田市長は、冒頭昨今の不況に触れられ、「アメリカ発のサブプライムローンから端を発し、バーチャルのファイナンスが破綻した。全く実経済のない株が破綻したわけで、責任のない経済アナリストの言に左右されて、株に踊った人は大変な苦労されている」「いわき市は実経済を地でいくような施策展開をしなければ市民に申し訳が立たない。諸情勢を踏まえつつ、あくまでも現実に即した地に足の付いた施策展開を行っていく」との話から始められました。その後、「歴史(時代)における東北の位置付け」についての認識、さらに「これからのかいわき」として進むべく方向性と具体的な取組みについて話を進められました。

歴史的に見ると東北は負けの連続。アテルイに始まり、前九年の役・後三年の役、藤原3代、さらには幕末に賊軍の汚名を着せられた会津容保公等々。いずれも都から攻め上げられ、東北地方はいつも負けている地域というイメージがある。しかしながら、21世紀になり東北地方は敗北の地であってはならないと思う。こちらから打って出て、色々な話をしながら訴えていく必要があると思う。常磐道の四車線化、小名浜港湾の整備と賑わいづくり、外貨コンテナ貨物や船舶の大型化に対応した東港地区ポートアイランド計画、3号埠頭と結んだ臨港道路等親水ゾーンの整備、さらに大型客船である飛鳥IIの寄港など。飛鳥IIには最大限の歓迎式をやろうかと考えている。100人以上のフラダンサーに岸壁と船上で踊ってもらい、楽しんで貰った観光客には下船し市内の観光や美味しい食事をして頂き、観光いわきの名を広めたいと思っている。

「東北はいつまでたっても被害者」という意識を持ち続けることは如何なものかと思う。これからは東北から新しい光を発信して行こうという考え方が必要であると考えている。当面、景気が低迷している間はハード面からソフト面に軸足を変え、規格の固い建物はしばらく先送りにして、既存のストックに光を当てながら、それで乗り切っていきたい。そのうち景気が回復し歳入が上がってきたならば、また別な考え方になるだろうが、現時点ではそういう基本的考え方で進めていきたい。

ソフト面の充実としては、①アリオスでのN響の

定期演奏：N響はどこでも定期演奏する訳ではなく、いわき市で行われることはいわき市が文化のレベルが最高潮に達した証し。②市民マラソン大会：平の陸上競技場をスタートし小名浜のアクアマリンパークでゴールとなるフルマラソンだが、エントリー人数を約3000人と見込んでおり、あらゆる階層や団体にお願いして万全を期して臨みたい。さらに、既存のストックに光を当てるという意味では、ヘリテージツーリズムもその通り。③小名浜のさんかく倉庫は洒落た美食ホテルや潮目交流館という形に変化し、④四ッ倉のふれあい物産館はいわき市初の「道の駅」を建設する予定。また、⑤各支所でのプロードバンド整備を進め、情報格差のない地域づくりやユビキタス社会を実現していきたい等々を考えている。

更に、喫緊の課題は病院問題。①市立病院の健全化：同一市に2つの市立病院を有しているのはいわきだけであり、病院をこのまま2つ継続していく場合いわき市財政がまいってしまう。北海道の夕張市と同じ轍を踏まないようにしなければならない。市立病院は、政策医療、急性期医療、高度医療の3つが責務であり、これを続けるためにも病院事業改革をやっていくつもり。その根底をなすものは医療という問題を大きく捉え、いわき市内でいわき市民の皆様の医療を完結していこうというもの。②医師の確保：市民の健康の最終的な受け皿としての医療はとても大事であり、医師確保に向けては、日本全国ガイダンスを実施し医師探しに努めたい。③協立病院が担う産児救急といった救急救命センターの機能を維持するためにも、コンビニ受診やモンスターぺーチェントの問題は市民に協力と理解を貰いたいと考えている。更に、④病院の耐震構造の問題：協立病院の建替えを検討するとともに、それまでの間はドクターヘリーや自衛隊の協力など、色々な方法を組み合わせながら市民の安心安全を守り抜いて行くつもり。

世界的な不況ではあるが、景気が持ち直すまでの間は皆で力を合わせながら、耐え忍び、その中にあっても、市民の行政に対するニーズというものを的確に捉えながら、適切なサービスを行い、連続性をもって市民に応えていくのが責務であるので間違いのない道筋を進めていくつもりと、力強いご説明を頂きました。

その後、質疑応答として、①福島空港の利用増、②いわき駅裏手のお城山の史跡化、③環境税と新川整備についてご回答を頂くなど、終始和やかな雰囲気の中、市長の思いと今後取組むべき方向や具体的な内容が理解できた講演でした。

# 2月グループ会報告

## 人材育成研究グループ会

■日 時 2月18日(水曜日)18:30~

■場 所 報徳苑

■内 容 1.まとめ会

今年度の活動の振り返りと追加事項についての確認。

- 1)まとめ資料にて今年度の活動について再確認を行う。  
・5月から1月までのディスカッションのまとめ資料の作成。
- 2)今までの活動の中で、「人材育成」の視点でモレや追加がないか確認。  
追加案として
  - ①改善力を高める研修 ②管理者研修
  - ③プレゼンテーションスキルアップ
- 3)会社として何を教育していくのかを見るようにするために、「教育体系図」を策定し毎年見直しをする。
- 4)社員のスキルマップ(力量)を作成する。(仕事のレベル・資格)
- 5)その他  
同友会メンバーへコーチング研修を開催してはどうか。アンケートで何を求めているかきいてみてはどうかの意見が出た。



## 経営品質向上グループ会

■日 時 2月26日(木曜日)18:30~

■場 所 報徳苑

■内 容 『適性検査としての内田クレペリン検査の活用』 内田クレペリン精神検査技師 大和田 宏氏

参加者全員により内田クレペリン検査を体験し解説を受けた。

人には、向き不向き、性格というものがある。事故を起こすものはいつも事故を起こす(事故頻発者)がいる。

生活ぶりや仕事ぶりの違いは、その人の性格により現れ方が千差万別性格は変わらない。(変わらないものを性格という立場)採用配置・適材適所の人事、事故を未然に防止する人事役立つ検査

【むすびとして】

人の適性を理解して幸せな人生を不向きな仕事をさせて、

「頑張れ」「不注意」

は、会社も従業員も不幸。



## 経営戦略グループ会

■日 時 3月4日(水曜日) 18:30~

■場 所 いわき建設会館

■内 容 まとめ会を開催いたしました。

高崎グループ長より年間の活動報告と毎月の会への参加の御礼、また来年度も同じ体制で第3グループの活動を行うので、引き続きのご協力をお願いしたいと、ご挨拶を頂きました。

参加者より一年間の反省と来年度への抱負を述べていただきました。



活動報告をみると、たくさんの講師を招いて、勉強会を行ってきたが、一回の講演会では、表面だけのお話や時間的制限もあり、ほりさげた話が聞けなかった感がある。

結局は、収穫が無かったように思える。そこで一人の講師に対して、2~3回に分けて勉強会を開催してはどうか?との意見を頂いた。また、事業を継続していく中で、大変参考になる勉強会に、参加人数が少なく、講師に対しても失礼であった。来年度はメンバーひとりが、ひとりを誘い参加すれば、倍の参加人数になるので、実践していきたい。また他の3つのグループ会に、第3グループのアピールを兼ねて積極的に参加し、他のグループ会からの参加者を増やして交流を図りたい。など貴重なご意見を頂きました。

## 人材交流グループ会

■日 時 2月18日(水曜日) 18:30~

■場 所 いわき建設会館 3F会議室

■内 容

講師はいわき信用組合事業支援部:猪狩部長、北郷課長の2名。

最初に猪狩部長から、「地域力連携拠点」について以下のようない説明をされました。

- ・中小企業への支援を行う機関採択までの経緯
- ・中小企業支援を行うための役割
- ・採択された機関の紹介、福島県の採択機関
- ・支援事業の流れ 等々



次にいわき信用組合様で取り組んでいるビジネスマッチングの会である「うるしの実」の紹介があり、北郷課長より事例紹介がありました。

最後にいわき信用組合様でアンケート調査を行った、いわきの景況予測についてのご紹介がありました。

## ビジネスモデル研究会

■ 日 時 2月20日(金曜日) 18:30~

■ 場 所 報徳苑

■ 内 容

1) 次年度のグループ編成及びメンバーの報告。

2) 次年度の事業計画について。

3) シンポジウム実行委員会について。

次年度から新たにスタートする「常磐もの潮目の魚」のブランド化について、きめ細かな戦略の必要性と、具体的なアプローチについて話し合いました。



### 新入会員紹介

皆さん宜しくお願ひします！



菊地秀明

あすか社会保険労務士法人  
代表社員  
業種／特定社会保険労務士、行政書士  
生年月日／昭和32年8月15日  
会社所在地 〒970-8036  
いわき市平谷川瀬字仲山町10-1  
GRAN SATOU FL



鈴木敏広

(株)宙エンジニアリング  
代表取締役  
業種／鉄鋼業  
生年月日／昭和33年11月11日  
会社所在地 〒979-0142  
いわき市勿来町酒井酒井原50-1

### 3月グループ会ご案内

- 人材育成研究グループ会／3月18日(水) PM6:30～ いわきワシントンホテル ボンジュール  
1.1年間の活動のまとめ・成果物として「まとめ資料作成」2.懇親会形式で振り返りと情報交換の実施。
- 経営品質向上グループ会／3月24日(火) PM6:30～ 割烹一平 「今年度のまとめ」として、懇親会
- 経営戦略グループ会／3月16日(月) 8:30～サラブレッドC.C. 18:30～ホテル美里 総まとめ懇親会
- 人材交流グループ会／グループ役員のみにて内々で開催予定
- ビジネスマodel研究会／3月27日(金) PM6:30～於イタリアンコート 漁業関係者(いわき魚類鈴木社長)との意見交換及びまとめのグループ会

会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

## 3月まとめ例会開催のご案内

# 3月13日(金)

○会費/3,000円

○会場/八幡台 やまたまや

P.M.6:30～通常例会、グループ会報告  
各委員会、事務局検討委員会、  
ホームページ検討委員会

P.M.7:10～まとめ例会懇親会

バスは小名浜町づくりステーション前～やまたまやのみ、  
平方面の方は電車をご利用願います。

送迎バス 酒席を考慮し送迎バスを準備いたしますのでご利用下さい。

いわき経済同友会  
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。  
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発 行 いわき経済同友会 里見 潤  
編 集 情報委員会 清水雅昭  
委 員 広報担当 岩尾英子・高萩和義・中田博道・山崎勇喜 HP担当 坂本和久・阿部晴康

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F  
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211  
<http://www.seaiwaki.jp>  
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp